



SDM テンプレートの設定

- [SDM テンプレートに関する情報 \(1 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートの設定方法 \(1 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートのモニタリングおよびメンテナンス \(3 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートの設定例 \(4 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートに関する追加情報 \(5 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートの機能履歴 \(5 ページ\)](#)

SDM テンプレートに関する情報

SDM テンプレートを使用してシステム リソースを設定すると、特定の機能に対するサポートをネットワーク内でのデバイスの使用方法に応じて最適化することができます。一部の機能に最大システム使用率を提供するようにテンプレートを選択できます。

Cisco Catalyst 9200 シリーズ スイッチは、次のテンプレートをサポートしています。

- Advanced
- VLAN

SDM テンプレートに変更を加えたらすぐにシステムをリロードすることを推奨します。テンプレートを変更し、システムを再起動した後、**show sdm prefer** 特権 EXEC コマンドを使用して、新しいテンプレート設定を確認できます。**reload** 特権 EXEC コマンドを入力する前に、**show sdm prefer** コマンドを入力すると、**show sdm prefer** コマンドにより、現在使用しているテンプレートおよびリロード後にアクティブになるテンプレートが表示されます。

SDM テンプレートの設定方法

SDM テンプレートの設定

SDM テンプレートを使用して機能動作を最適にサポートするには、次の手順を実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	sdm prefer {advanced vlan} 例： Device(config)# sdm prefer vlan	SDM テンプレートを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • advanced : スイッチをアドバンスドテンプレートに設定します。 • vlan : ハードウェアでのルーティングをサポートしないスイッチでの VLAN 設定を最適化します。
ステップ 4	end 例： Device(config)# end	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 5	reload 例： Device# reload	オペレーティング システムをリロード します。 システムの再起動後、 show sdm prefer 特権 EXEC コマンドを使用して、新しい テンプレート設定を確認できます。 reload 特権 EXEC コマンドを入力する 前に、 show sdm prefer コマンドを 入力すると、 show sdm prefer コマンドにより、現在使用している テンプレートおよびリロード後にアク ティブになるテンプレートが表示され ます。

SDM テンプレートのモニタリングおよびメンテナンス

SDM テンプレートの確認

SDM テンプレートをモニタおよびメンテナンスするには、次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
show sdm prefer	使用中の SDM テンプレートを表示します。
reload	スイッチをリロードして、新しく設定した SDM テンプレートをアクティブにします。



- (注) SDM テンプレートには、テンプレートの一部として定義されているコマンドのみが含まれています。テンプレートで定義されていない別の関連コマンドがテンプレートで有効になっている場合、**show running config** コマンドを入力すると、該当するコマンドが表示されます。たとえば、SDM テンプレートで **switchport voice vlan** コマンドが有効になっている場合、(SDM テンプレートでは定義されていませんが) **spanning-tree portfast edge** コマンドも有効にすることができます。

SDM テンプレートを削除すると、そのような他の関連するコマンドも削除されるため、明示的に再設定しなければなりません。

カスタマイズ可能な SDM テンプレートの確認

適用されるカスタマイズ可能な SDM テンプレートを確認するには、次のコマンドを使用します。

表 1: カスタマイズ可能な SDM テンプレートを確認するコマンド

コマンド	説明
show sdm prefer custom	カスタマイズ可能な SDM テンプレートの機能に適用されるカスタム値を表示します。
show sdm prefer custom user-input	カスタマイズ可能な SDM テンプレートでユーザが入力した値を表示します。
show sdm prefer	現在アクティブなカスタマイズされた SDM テンプレートを表示します。

カスタマイズ可能な SDM テンプレートのいずれかの機能にゼロのスケール値が割り当てられた場合、デバイスがリロードされた後、その機能は **show sdm prefer custom** コマンドの出力に表示されません。

SDM テンプレートの設定例

例 : SDM テンプレートの表示

次に、詳細なテンプレート情報を表示した出力例を示します。

```
Device# show sdm prefer advanced
Showing SDM Template Info

This is the Advanced template.
Number of VLANs:                               1024
Unicast MAC addresses:                         16384
Overflow Unicast MAC addresses:                256
L2 Multicast entries:                          1024
L3 Multicast entries:                          1024
Overflow L3 Multicast entries:                 256
Directly connected routes:                     8192
Indirect routes:                               3072
STP Instances:                                 128
Security Access Control Entries:               1408
QoS Access Control Entries:                   1024
Policy Based Routing ACEs:                     512
Netflow Input ACEs:                            128
Netflow Output ACEs:                           128
Ingress Netflow ACEs:                          128
Egress Netflow ACEs:                           128
Flow SPAN ACEs:                                256
Tunnels:                                       128
LISP Instance Mapping Entries:                 128
Control Plane Entries:                         512
Input Netflow flows:                           8192
Output Netflow flows:                           8192
SGT/DGT (or) MPLS VPN entries:                 2048
SGT/DGT (or) MPLS VPN Overflow entries:        256
Wired clients:                                 2048
MACSec SPD Entries:                            128

These numbers are typical for L2 and IPv4 features.
Some features such as IPv6, use up double the entry size;
so only half as many entries can be created.
* values can be modified by sdm cli.
```

次に、VLAN テンプレート情報を表示した出力例を示します。

```
Device# show sdm prefer vlan
Showing SDM Template Info

This is the VLAN template for a typical Layer 2 network.
Number of VLANs:                               1024
Unicast MAC addresses:                         16384
Overflow Unicast MAC addresses:                256
L2 Multicast entries:                          1024
L3 Multicast entries:                          1024
Overflow L3 Multicast entries:                 256
Directly connected routes:                     4096
```

```

Indirect routes:                2048
STP Instances:                  128
Security Access Control Entries: 1408
QoS Access Control Entries:     1024
Policy Based Routing ACEs:      512
Netflow Input ACEs:             128
Netflow Output ACEs:           128
Ingress Netflow ACEs:          128
Egress Netflow ACEs:           128
Flow SPAN ACEs:                256
Tunnels:                        128
LISP Instance Mapping Entries:  128
Control Plane Entries:         512
Input Netflow flows:           8192
Output Netflow flows:          8192
SGT/DGT (or) MPLS VPN entries: 2048
SGT/DGT (or) MPLS VPN Overflow entries: 256
Wired clients:                 2048
MACSec SPD Entries:            128

```

These numbers are typical for L2 and IPv4 features.
Some features such as IPv6, use up double the entry size;
so only half as many entries can be created.
* values can be modified by sdm cli.

例：SDM テンプレートの設定

```

Device(config)# sdm prefer advanced
Device(config)# exit
Device# reload
Proceed with reload? [confirm]

```

SDM テンプレートに関する追加情報

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
この章で使用するコマンドの完全な構文および使用方法の詳細。	<i>Command Reference (Catalyst 9200 Series Switches)</i>

SDM テンプレートの機能履歴

次の表に、このモジュールで説明する機能のリリースおよび関連情報を示します。

これらの機能は、特に明記されていない限り、導入されたリリース以降のすべてのリリースで使用できます。

リリース	機能	機能情報
Cisco IOS XE Fuji 16.9.2	SDM テンプレート	標準のSDMテンプレートを使用すると、システムリソースを設定して、特定の機能のサポートを最適化できます。

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよびソフトウェアイメージのサポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。